

# 企業景況調査報告書

(平成29年7～9月期)

## < 目次 >

質問1 調査の概要・結果概要	..... 1
質問2 (直面している経営上の問題点)	..... 2
質問3 地震より約1年後の景況感、意見要望等	..... 3
DI集計結果・分布	..... 4～6
調査票様式	..... 7

倉吉商工会議所

倉吉市明治町 1037-11

TEL 0858-22-2191

FAX 0858-22-2193

Email [cci3103@kurayoshi-cci.or.jp](mailto:cci3103@kurayoshi-cci.or.jp)

# 倉吉商工会議所企業景況調査報告書（平成29年7～9月）

調査対象企業	倉吉市内の商工会議所会員企業 100社 (建設業22社、製造業19社、卸売業11社、小売業21社、サービス業21社、その他6社)
調査方法	各事業所宛てにFAXにて調査票を送付し、FAXにて返信依頼。必要に応じて訪問回収。
調査時期	平成29年10月上旬
回収状況	84社(回収率84%) ※前回(4～6月)88社 (建設業21社、製造業18社、卸売業8社、小売業20社、サービス業12社、その他5社)

## <今期の状況> (4ページ表参照)

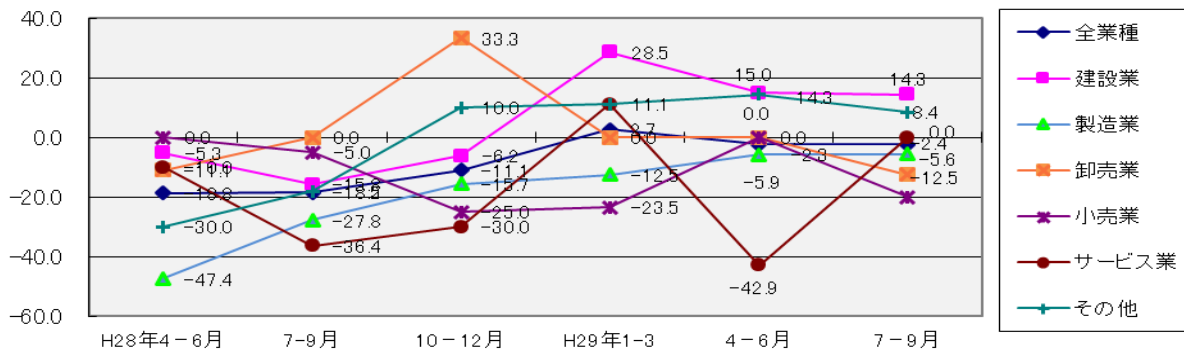
今期の全業種の業況DIは、前年同期比で前期の▲2.3から下降し、▲2.4となった。業種別に見ると、製造業・サービス業で上昇しており、それぞれ製造業は▲5.6(前期▲5.9)、サービス業は0.0(前期▲42.9)と上昇している。一方、建設業、卸売業、小売業、その他の業種では下降しており、卸売業は▲12.5(前期0.0)、小売業は▲20.0(前期0.0)、その他の業種は8.4(前期14.3)という状況である。建設業は14.3(前期15.0)とほぼ横ばいではあるが、地震の復旧工事の需要に伴う人手不足が大きな問題となっている。

## <来期の見通し> (4ページ表参照)

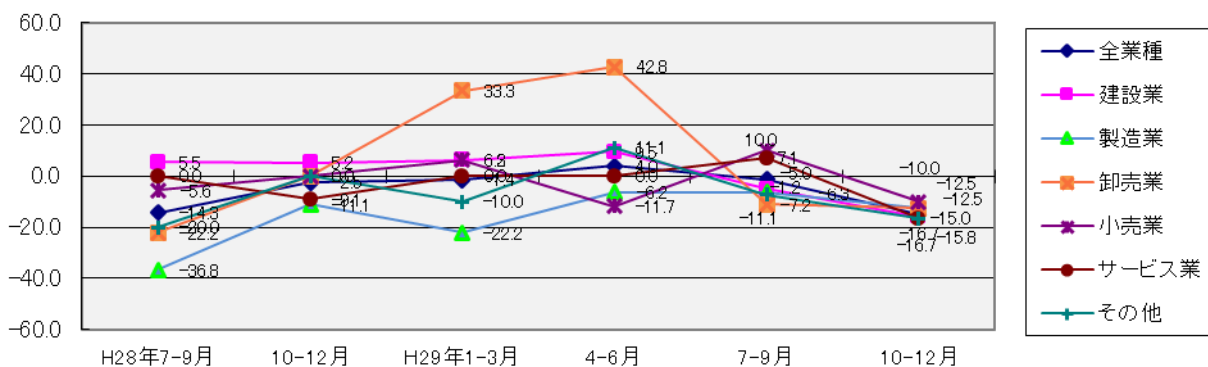
来期の見通し(平成29年10～12月)では、全業種で下降する見込みであるとの集計結果となった。全業種のDI値は▲15.0(前期▲1.2)であり、業種別に見ると建設業では▲15.8(前期▲5.0)、製造業は▲12.5(前期▲6.3)、卸売業は▲12.5(前期▲11.1)、小売業が▲10.0(前期10.0)、サービス業が▲16.7(前期7.1)、その他は▲16.7(前期▲7.2)といずれも下降の見通しである。

## <業況判断DIの推移> ※今期のDI値集計結果についてはP4をご参照下さい。

### (1) 今期の状況 <業種別>



### (2) 来期の見通し<業種別>



## ※DI値

売上・採算・業況などの各項目についての、判断の状況を表します。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示します。したがって、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを意味するものです。DI=(増加・好転などの回答割合)-(減少・悪化などの回答割合)

質問2 直面している経営上の問題点（上位3点を回答）

- 01 競争激化 02 消費・需要の停滞 03 売上・受注減少 04 売上・受注単価低下  
 05 原材料・仕入価格上昇 06 原材料・在庫不足 07 原材料・在庫過剰  
 08 店舗・生産設備不足・老朽化 09 店舗・生産設備過剰 10 経費の増加 11 人手不足  
 12 人手過剰 13 利益率低下 14 代金回収難 15 資金繰り難 16 新分野進出  
 17 その他:具体的に( )

〔上位項目〕

※（ ）内は件数

分類		1位	2位	3位
全業種	当期	人手不足 (38)	競争激化 (29)	売上・受注減少 (28)
	前期	売上・受注減少 (31)	人手不足 (30)	競争激化 (25)
建設業	当期	人手不足 (15)	原材料・仕入価格上昇 (8)	利益率低下 (6)
	前期	人手不足 (11)	経費の増加 (10)	原材料・仕入価格上昇 (9)
製造業	当期	人手不足 (9)	消費・需要の停滞 (6) 原材料・仕入価格上昇 (6)	競争激化 (5) 売上・受注減少 (5) 店舗・生産設備不足・老朽化 (5)
	前期	店舗・生産設備不足・老朽化 (6) 売上・受注減少 (6)	競争激化 (5) 経費の増加 (5)	原材料・仕入価格上昇 (4) 人手不足 (4) 利益率低下 (4) 新分野進出 (4)
卸売業	当期	売上・受注減少 (5)	競争激化 (4)	原材料・仕入価格上昇 (3) 経費の増加 (3)
	前期	競争激化 (5) 消費・需要の停滞 (5)	売上・受注減少 (4) 人手不足 (4) 利益率低下 (4)	原材料・仕入価格上昇 (2) 経費の増加 (2)
小売業	当期	競争激化 (12)	消費需要の停滞 (8)	利益率低下 (7)
	前期	消費・需要の停滞 (13)	競争激化 (8)	売上・受注減少 (7)
サービス業	当期	消費・需要の停滞 (5) 売上・受注減少 (5) 店舗・生産設備不足・老朽化 (5) 人手不足 (5)	経費の増加 (3) 利益率低下 (3)	原材料・仕入価格上昇 (2)
	前期	売上・受注減少 (9)	消費・需要の停滞 (5) 人手不足 (5)	競争激化 (4) 利益率低下 (4)
その他	当期	消費・需要の停滞 (3) 売上・受注減少 (3)	競争激化 (2) 経費の増加 (2)	原材料・仕入価格上昇 (1) 人手不足 (1) 代金回収難 (1) 資金繰り難 (1) 新分野進出 (1)
	前期	競争激化 (4)	経費の増加 (3)	人手不足 (2) 利益率低下 (2) 新分野進出 (2)

17. その他の課題

※HACCPによる設備等の改善（製造業）、熟練者の不足（サービス業）

**質問3** 昨年10月21日の鳥取県中部地震より約一年が経ちますが、現在の景況感、経営上の問題点についての意見又、行政等への要望についてご記入ください。

**【建設業】**

- ・今年度は前年度に比べ、売上が半分の計上となりました。来年度も厳しい状況だと思われませんが、努力したいと存じます。
- ・当初に比べ修繕工事もずいぶん落ち着いてきたが、まだ工事が必要な家屋や建物も多い。実際工事をする職人さんの段取りがなかなか思うように組めない現状である。
- ・下請けさんの人手不足の為、思うように仕事が進まない。今年は忙し過ぎます。来年は？と考えます。
- ・地震の住宅等の復旧工事が一段落した後、この特需による悪影響が心配である。また、人材の確保が更に難しくなりそうで対策は待ったなしだと思ふ。

**【製造業】**

- ・4年前完工した耐震化工事のおかげで、社内的には問題なし。
- ・仕事も建物も地震の影響はありません。
- ・運賃等の値上げによる原材料の値上げが一部に見られる。HACCP の認定を得る為の設備等の改善の負担が発生している。又、表示(原材料)も毎年のように変更があり、負担が増加している。景況感は依然厳しい状況が続いている。
- ・総じて横ばいで推移。

**【小売業】**

- ・まだまだ設備などまったく手つかずのまま1年がたちました。建築関係がまだまだ仕事オーバーワークのままのようです。早く元のような営業ができるようになりたいです。
- ・1年たって売上が大幅に下がった月が9か月もあった。大きいものはNET や大型店で安く買い、地元では小さいものしか買わなくなっている。クレジット支払だけが增加している。
- ・商品の買替需要が弱い。
- ・地震の復興需要は徐々に落ち着いていくと思われる。売上減少が懸念される。
- ・夏の 38℃もある天気には人は出歩かない、大雪もしかり、バスから歩かれる方への休憩所等のサービスがあると良いと思ふ。

**【サービス業】**

- ・新店舗でバリアフリーの申請をしたくても地震の補助金の為出来ない。枠を増やしてほしい。
- ・現在は復旧需要もあり多少売上も上がっているが、来期以降自力で売上を上げる努力が必要とされる。人件費も圧迫してきているため売上高増が急務。
- ・国の緊縮財政政策から中長期的に仕事が増えると思えない。従って、積極的に設備投資をする状況では無いと思います。
- ・鳥取県発注業務の応募要件となっている有資格者が高齢化しているため、若年労働者との切替をするために採用している。そして、若い技術者育成が必要であるが、資格を取らせることにも苦勞している。国の政策と社員の気持ち以前に、当社の都合で年をとっても退職させられなくなっている。近年、資格が多すぎることに原因があると思ふ。ほとんどが民間資格で、国家公務員の退職後の天下り組織である。何とかならんものかと思ひます。
- ・昨年の地震で工場内が被災したため、県の復興補助金制度を利用して修復工事をしました。売上高は昨年より少しだけ上がりましたが、経費がかさんでしまい収益の改善に至っていない。
- ・地震以後、明らかに売上が減少しています。地震被害の大小に関わらず、修理等の支出を余儀なくされた方も多く、節約ムードで飲食にお金をかけない風潮があるようです。

**【その他】**

- ・消費の停滞に伴う売上の減少

D I 集 計( 前年同期比＝H29年7～9月期、来期の見通し＝H29年10～12月期)

【製造業・非製造業別】

	1. 売上高		2. 売上単価		3. 資金繰り	
	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し
全業種	1.2	-6.3	3.7	2.6	-6.0	-15.2
製造業	16.7	0.0	5.9	12.5	0.0	-18.7
非製造業	-3.0	-8.0	3.2	0.0	-7.6	-14.3

	4. 借入難度		5. 収益状況		6. 雇用人員	
	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し
全業種	-1.2	6.1	11.2	2.5	1.2	11.6
製造業	5.5	0.0	11.1	6.7	-11.1	12.5
非製造業	-3.0	8.0	11.3	1.7	4.7	11.3

	7. 業況判断	
	前年同期比	来期の見通し
全業種	-2.4	-15.0
製造業	-5.6	-12.5
非製造業	-1.5	-15.6

【業種別】

	1. 売上高		2. 売上単価		3. 資金繰り	
	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し
全業種	1.2	-6.3	3.7	2.6	-6.0	-15.2
建設業	0.0	0.0	-9.5	-5.3	0.0	0.0
製造業	16.7	0.0	5.9	12.5	0.0	-18.7
卸売業	-50.0	0.0	12.5	28.6	-37.5	0.0
小売業	10.0	5.0	5.0	0.0	-15.0	-15.0
サービス業	0.0	-25.0	18.2	0.0	0.0	-25.0
その他	0.0	-60.0	0.0	-25.0	20.0	-60.0
非製造業	-3.0	-8.0	3.2	0.0	-7.6	-14.3

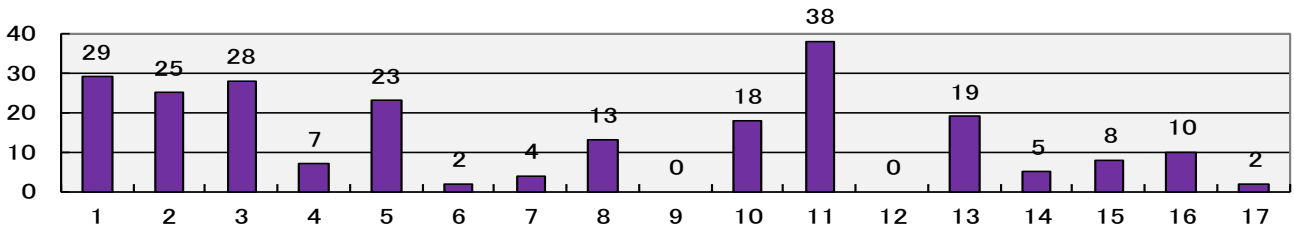
	4. 借入難度		5. 収益状況		6. 雇用人員	
	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し
全業種	-1.2	6.1	11.2	2.5	1.2	11.6
建設業	9.5	0.0	21.0	11.7	5.0	15.8
製造業	5.5	0.0	11.1	6.7	-11.1	12.5
卸売業	-12.5	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0
小売業	-5.0	-25.0	0.0	0.0	20.0	20.0
サービス業	0.0	-16.7	27.3	9.1	-25.0	0.0
その他	-40.0	-40.0	0.0	-40.0	-8.4	0.0
非製造業	-3.0	8.0	11.3	1.7	4.7	11.3

	7. 業況判断	
	前年同期比	来期の見通し
全業種	-2.4	-15.0
建設業	14.3	-15.8
製造業	-5.6	-12.5
卸売業	-12.5	-12.5
小売業	-20.0	-10.0
サービス業	0.0	-16.7
その他	8.4	-16.7
非製造業	-1.5	-15.6

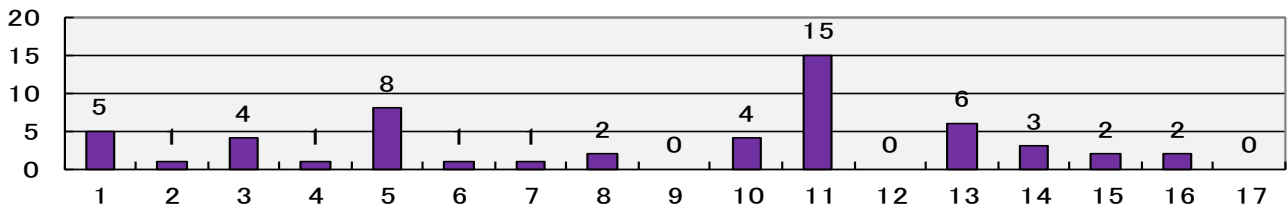
質問 2 今期直面している経営上の問題点

- |                 |          |
|-----------------|----------|
| 1 競争激化          | 10 経費の増加 |
| 2 消費・需要の停滞      | 11 人手不足  |
| 3 売上・受注減少       | 12 人手過剰  |
| 4 売上・受注単価低下     | 13 利益率低下 |
| 5 原材料・仕入価格上昇    | 14 代金回収難 |
| 6 原材料・在庫不足      | 15 資金繰り難 |
| 7 原材料・在庫過剰      | 16 新分野進出 |
| 8 店舗・生産設備不足・老朽化 | 17 その他   |
| 9 店舗・生産設備過剰     |          |

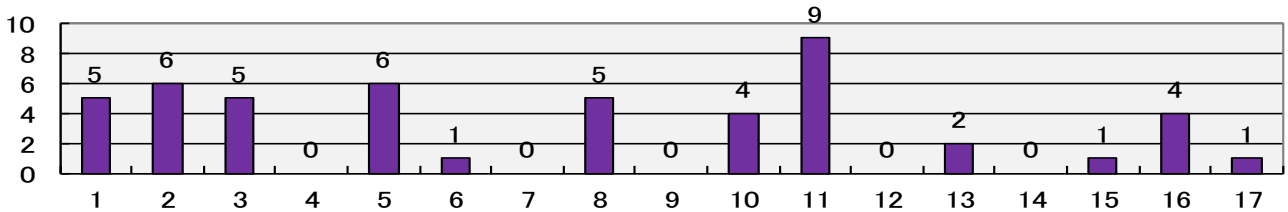
全業種(複数回答)



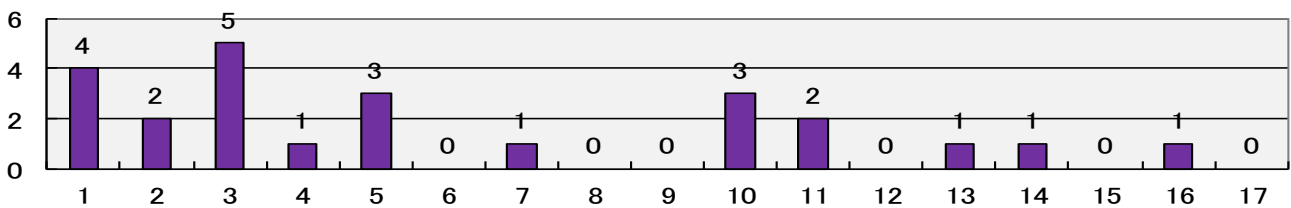
建設業(複数回答)



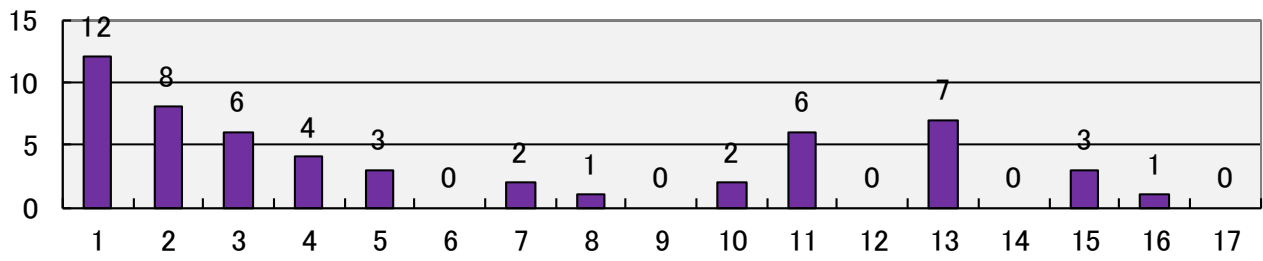
製造業(複数回答)



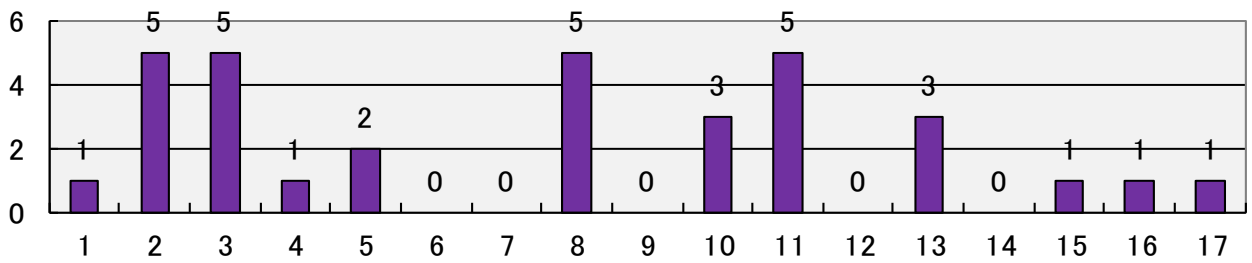
卸売業(複数回答)



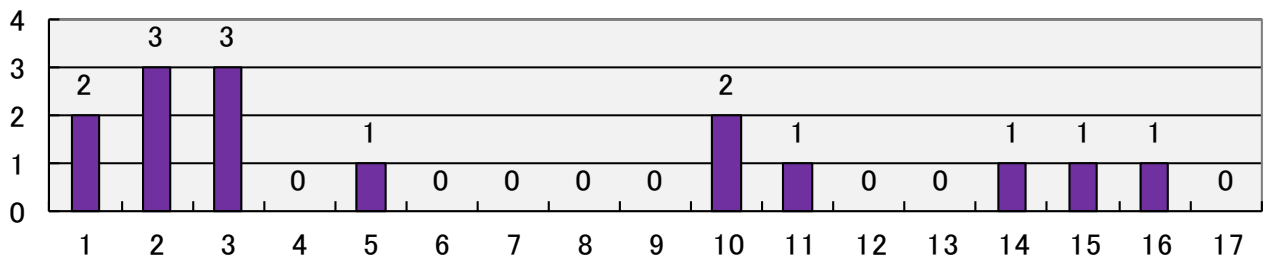
小売業(複数回答)



サービス業(複数回答)



その他(複数回答)



事業所名: \_\_\_\_\_ (お手数ですがご記入をお願いします。)

㊞

### 倉吉商工会議所企業景況調査票(平成 29 年 7～9 月期)

調査元：倉吉商工会議所 TEL:22-2191

FAX:22-2193

【質問 1】前年同期と比較した今期(平成 29 年 7～9 月)の状況と、今期と比較した来期(平成 29 年 10～12 月)の見通しについて、最も近いものに○印をお付けください。

1) 売上高	(前年同期比)	1. 増加	2. 不変	3. 減少
	(来期の見通し)	1. 増加	2. 不変	3. 減少
2) 売上単価	(前年同期比)	1. 上昇	2. 不変	3. 低下
	(来期の見通し)	1. 上昇	2. 不変	3. 低下
3) 収益状況	(前年同期比)	1. 好転	2. 不変	3. 悪化
	(来期の見通し)	1. 好転	2. 不変	3. 悪化
4) 資金繰り	(前年同期比)	1. 好転	2. 不変	3. 悪化
	(来期の見通し)	1. 好転	2. 不変	3. 悪化
5) 借入難度	(前年同期比)	1. 容易	2. 不変	3. 困難
	(来期の見通し)	1. 容易	2. 不変	3. 困難
6) 雇用人員	現在の従業員数	人(うち正規雇用者 _____ 人)		
	(前年同期比)	1. 増加	2. 不変	3. 減少
7) 貴社の業況	(前年同期比)	1. 好転	2. 不変	3. 悪化
	(来期の見通し)	1. 好転	2. 不変	3. 悪化

【質問 2】今期直面している経営上の問題点について、重要度の高い順に該当する番号を回答欄へご記入ください。

		回答欄
01 競争激化	10 経費の増加	1 位 _____
02 消費・需要の停滞	11 人手不足	
03 売上・受注減少	12 人手過剰	2 位 _____
04 売上・受注単価低下	13 利益率低下	
05 原材料・仕入価格上昇	14 代金回収難	3 位 _____
06 原材料・在庫不足	15 資金繰り難	
07 原材料・在庫過剰	16 新分野進出	
08 店舗・生産設備不足・老朽化	17 その他:具体的に	
09 店舗・生産設備過剰	( _____ )	

【質問 3】昨年10月21日の鳥取県中部地震より約一年が経ちますが、現在の景況感、経営上の問題点についての意見又、行政等への要望についてご記入ください。

ご協力ありがとうございました。